

太平洋セメント（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施 最高ランクの格付を取得

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、「持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、経済の発展のみならず、環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。」という経営理念のもと、廃棄物の有効利用による環境負荷低減に取り組んでいます。また、2050年において、(1)セメント生産におけるCO₂排出を80%削減、(2)セメント製品による20%相当のCO₂削減貢献という目標を掲げ、CO₂の再資源化技術の開発などをはじめ、具体的な取り組みをすすめています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 「2050年を展望した温室効果ガス排出削減に係る長期ビジョン」を公表するとともに、その将来的な実現を見据え、セメント製造工程において排出されるCO₂の再資源化をはじめとする革新的技術の実用化や事業化に向け着実に取り組んでいる点
- (2) 各業種において選好または忌避される化学物質について、セメント製造プロセスを通じて効率的に回収利用できる静脈系の資源循環モデル「資源コンビナート構想」(注)を構築し、リチウムイオン電池や都市ごみ焼却灰等から金属資源の回収を実現するなど、高い技術力に基づく資源循環を積極的に推進している点
- (3) 今後10年程度を見据え経営に不確実な影響を与え得るリスクを全社で定期的に特定し、社会や環境側面等の変化が事業に与える機会とリスクを踏まえ、今後の事業戦略を整理している点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。これは、6年連続の最高ランク取得になります。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注)「資源コンビナート構想」は当社登録商標であり、当社が打ち出したセメント産業を中心とした非鉄精錬、電炉、化学などの各種産業との連携による高度に発展した資源循環モデルです。

【お問い合わせ先】

企業金融第1部 電話番号 03 - 3244 - 1680